

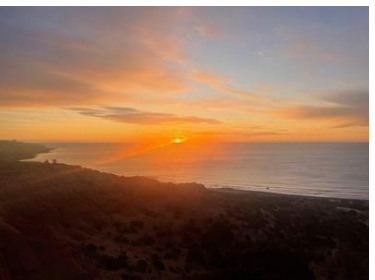
私たち3人は、次世代リーダー育成道場11期Aコースで、オーストラリア、ニュージーランドに10か月間留学し、12月の初旬に帰国しました。今回は、少ない文字数ではありますが、それぞれから、留学を通して学んだこと、感じたことなどを書いていこうと思います。ぜひ読んでください！



Kia ora! 私は先住民マオリの文化が大切にされている国、ニュージーランドの、首都ウェリントンの郊外に行きました。郊外ということもあり自然が多くのおかげで、自然愛好家の自分には最高の環境でした。一方で、首都の一部ではあったので、街の中心地には比較的アクセスしやすく、休日にはショッピングや美術館にも行きました（とはいっても、専ら散歩です(笑)）。学校では、初めは英語に苦しみましたが、気の合う友だちを見つけることができ、充実した時間を過ごすことができました。クラブ活動として、ネットボールという新しい競技にも出会うことができました（ネットボールはおもしろいのでぜひYouTubeなどで調べてみてください:))。学校外での活動としては、ほぼ10か月間、在ニュージーランド日本国大使館にて日本語教室のボランティアをしました。日本に関心があり日本語を学びたいと思ってくれる人と出会い、学校外で、しかも年齢を超えた人間関係を築けたことは、貴重なことだったと思います。自分の留学の最大の目標は、「自分を変える/強くなる」でした。正直に申し上げて、あまり達成はできませんでした。けれど、良くも悪くも自分変わらないのだなという発見は、一つ収穫と言ってもいいのではないかと思います。本当に変わるのには、もうしばらく時間がかかりそうです。留学は、大変なことも多いです。思いがけないことで悩むこともあります。自分自身、一時期かなり打ちのめされました。それでも乗り越えることができたのは、「変わりたい」という抽象的で漠然とした大きな野望、思いからでした。自分の可能性に風穴を開けたい方、(達成されるかわからなくても)目標をもって飛び立ってみることをぜひ一つの選択肢として考えてみてください! Kia kaha!



こんにちは! 私が滞在していたブリスベンという街は、こじんまりとして治安もよく、穏やかでゆったりとした生活を送ることができました。週末にはシティに友達と出かけ、よくピクニックやショッピング等を楽しんでいました。また学校ではダンスとドラマのクラブに参加しました。どちらも日本の部活動と比べるとかなり緩いものだったのですが、それでも楽しく充実した活動を経験することができました。特にドラマクラブでは、オーストラリアの高校生の演劇のクオリティの高さに、多くの刺激を受けました。また、留学中に訪れたウルルへのアウトバック旅行は、留学一番の思い出です。世界で二番目に大きな岩とされる巨大なウルルは、先住民アボリジニの言葉であり、一万年以上も前から住み着いた彼らの聖地です。毎秒太陽の光によって色が移り変わるウルルの美しさは、今でもずっと心に残っています。夜には、都市から何万キロも離れた明かり一つない場所で、友達とテントの外で星空を眺めながら寝たのも良い思い出です。いくつ流れ星を見たのか忘れる程、星が降るといふ表現が正しいというような、そんな星空でした。ウルルをはじめとして、オーストラリアはその豊かな自然が素晴らしい国です。長々と書いてしまいましたが、今はそんな国に留学できたことを、懐かし嬉しく思いながら、感謝しています。この一年で感じたこと、学んだことを決して忘れずに、これからまた頑張っていきます!



僕が滞在していたアデレードという街はオーストラリアの中の南オーストラリア州の州都でしたが、州都とはいうもののとても小さな街でした。自分が東京から来たということもあり、最初は自然の多さに驚いたり、逆にそれゆえの不便さなどもたくさん体験したりしました。中でも一番驚いたのは、電車に乗るためのカード(パスモやスイカのようなもの)が街の全区間に対応している定期券のようになっており、それ一枚持っていればアデレードという街をほぼ無料で一周できたという事実が面白かったです。アデレードは自然がとても綺麗で、特に自分が印象深く残っているのはビーチの綺麗さです。昼は言わずもがなですが、夕方になるととても綺麗な夕日が海全体に反射して光に包み込まれているような感覚になります。また、僕の通っていた学校には留学生が様々な国から来ていてとても多文化交流が盛んだったと感じます。日本人はもちろんたくさんいましたがそれ以上に驚いたのはドイツ人留学生が大勢いたということです。留学生がたくさんいたことで自分たちだけに用意されたプログラム(サーフィンやシティの見学ツアーなど)はとても有意義でした。たくさん書きましたがこれは留学のほんの少しに過ぎません。これ以外にも楽しいこと辛いことなどたくさんあったので興味ある方はぜひ聞きに来てください!

Thank you once again for giving us this opportunity to share our experience :)